事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 3年 8月16日
14時44分13秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

所属長名 横手 憲治郎
担当者 杉江 美奈子
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	019	アンフォーレ施設管理事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例			
備考				

【事業分析】

対象	施設利用者が
目的	快適な環境で施設を利用できるようになる。
手段	施設警備・設備点検・清掃等の維持管理、建築設備器具修繕等を実施します。
事務内容	光熱水費支払い、建築設備器具修繕、PFI事業者への施設維持管理業務委託、ネットワーク保守管理委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度 決算額	令和 2年度 決算額	令和 3年度 予算額
トータルコスト	127,021	126,448	125,190
事業費	120,721	120,148	118,590
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,855	1,744	2,045
一般財源	118,866	118,404	116,545
人件費計	6,300	6,300	6,600
正規（人）	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	アンフォーレ設備維持 管理委託、アンフォー レネットワーク保守委 託等	アンフォーレ設備維持 管理委託、アンフォー レネットワーク保守委 託等	アンフォーレ設備維持 管理委託、施設保守管 理委託等

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 3 年 8 月 16 日
14 時 44 分 13 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
施設管理に関するクレーム（意見等を含む）件数	件	5.00	5.00	5.00
		0.00	0.00	0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00
		1,203,127.00	668,951.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入館者数の実績等を踏まえ、十分なニーズがあると考えます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により入館者数は前年度の半数程度でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PFI 事業による維持管理計画を都度適正に見直しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模にあった事業管理を行っています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	平成29年6月にオープンして4年目となり、2月にはアンフォーレ本館入館者400万人を達成しました。コロナ禍の影響により2年度の入館者数は前年度の半数程度でしたが、市民の交流の場として活用されています。引き続き、利用者の皆さまが快適に施設を利用できるよう関連法令を遵守しながら適切な維持管理・施設運営に努めていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 3年 8月16日
14時44分14秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

所属長名 横手 憲治郎
担当者 杉江 美奈子
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	020	まちなか賑わい創出事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健全
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・中心市街地拠点施設活用促進事業 ・南吉まちづくり推進事業				

【事業分析】

対象	安城市民及び市外住民が
目的	アンフォーレを有効活用し、多くの来館が生まれることで、まちなかの交流・賑わいが創出されるようになる。
手段	ホール等の交流多目的スペースを活用したイベント業務やイベントを実施する市民団体等のコーディネート業務等を行う指定管理事業、アンフォーレのPR、新美南吉等の地域資源を活用した回遊促進事業等を実施します。
事務内容	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度 決算額	令和 2年度 決算額	令和 3年度 予算額
トータルコスト	64,013	69,302	65,575
事業費	54,563	59,852	55,675
国庫支出金	0	6,960	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	54,563	52,892	55,675
人件費計	9,450	9,450	9,900
正規（人）	1.50	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 3年 8月16日
14時44分14秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
アンフォーレを会場とする事業数	件	2,000.00 2,260.00	2,000.00 1,425.00	2,000.00 0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00 1,203,127.00	1,000,000.00 668,951.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市議会、地域商店街等からの施設有効利用の要望があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により入館者数は前年度の半数程度でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を活用し、事業の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模に見合った事業実施を図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年6月にオープンして4年目となり、2月にはアンフォーレ本館入館者400万人を達成しました。コロナ禍の影響により2年度の入館者数は前年度の半数程度でしたが、市民の交流の場として活用されています。今後、さらにまちなかの交流や賑わいを創出するため、アンフォーレを活用した事業展開を図っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

1 頁
令和 3 年 8 月 16 日
14 時 45 分 17 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館 I C T 活用事業

所属長名 横手 憲治郎
担当者 水藤 美那
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	004	きずな		
項目 (施策)	004	1 4 生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	004	図書情報館 I C T 活用事業		
事業期間	平成 26 年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生 定住・移住促進
根拠法令等	図書館法、文字・活字文化振興法、安城市図書館の設置及び管理に関する条例			
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ 図書情報館機能整備事業			

【事業分析】

対象	図書情報館利用者が
目的	必要な情報を得て知識を深めることができる。
手段	施設や機器を提供します。
事務内容	情報発信及び情報機器類の管理と利活用を行います。

【コスト】

(単位 : 千円)

	平成 31 年度 決算額	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 予算額
トータルコスト	78,684	75,746	359,195
事業費	64,194	61,256	345,335
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4,355	4,752	131,081
一般財源	59,839	56,504	214,254
人件費計	14,490	14,490	13,860
正規 (人)	2.30	2.30	2.10
その他経費	0	0	0

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等	I C T 機器更新準備 図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等	I C T 機器更新 図書情報ネットワーク保守委託 図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース等

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館 I C T 活用事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
自動貸出機利用率	%	85.00 86.38	85.00 86.50	85.00 0.00
ロボットプログラミング教室参加者数	人	15.00 16.00	4.00 4.00	0.00 0.00
施設利用率	%	50.00 60.64	50.00 53.46	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県の図書館もありますが、図書情報館独自の取り組みです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	国、県の図書館もありますが、図書情報館独自の取り組みです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	図書貸出の 8 5 % 以上が、I C T 活用によるものです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	すべての指標で目標達成しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても、質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	施設利用率は、全体としての目標は達成しました。6 つのグループ学習室は高い利用率を保っています。編集・録音スタジオにつきましては、利用は伸びましたが、目標達成できませんでした。ディスカッションルームにつきましては、利用率が前年度より下がってしまいました。また、令和 3 年度末で 5 年間の保守契約が終了となりますので、導入時よりも使い勝手のよいものに更新することや、利用頻度が少ない機器については、当面現在の機器を継続して利用しますが、新たな機器も導入します。また、ロボットプログラミング教室につきましては、民間教室の増加等により、市民ニーズの低下が予想されたため、令和 3 年度より廃止します。新型コロナウイルスの影響はありますが、感染症対策を実施しながら、利用者への P R などに努め、利用率の向上を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

1 頁
令和 3 年 8 月 19 日
15 時 00 分 25 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

所属長名 横手 憲治郎
担当者 稲垣 正典
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	004	きずな		
項目 (施策)	004	1 4 生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	005	図書情報館資料貸出事業		
事業期間	昭和24年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進			
備考				

【事業分析】

対象	図書館を利用する市民が
目的	必要とする図書館資料の提供を受けられるようになる
手段	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。
事務内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配送、図書館システムの使用 (維持管理含む) 等

【コスト】

(単位 : 千円)

	平成31年度 決算額	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 予算額
トータルコスト	115,016	113,666	120,421
事業費	95,486	97,286	97,981
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	29	28	60
一般財源	95,457	97,258	97,921
人件費計	19,530	16,380	22,440
正規 (人)	3.10	2.60	3.40
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務 (派遣)	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等 図書配送業務 (派遣)	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ (夏休み期間) 図書配送業務 (派遣)

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 3 年 8 月 19 日
15 時 00 分 25 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
市民 1 人あたりの図書 年間貸出冊数	冊	10.70	10.70	9.00
		10.55	8.44	0.00
図書館等の実利用者数 (単年度)	人	32,500.00	33,000.00	27,000.00
		32,309.00	25,372.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	貸出冊数・利用者人数等はコロナ禍による影響で一時的に減少した		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年間貸出冊数・実利用者数ともにコロナ禍の影響で減少した		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	雑誌スポンサー制度のスポンサー雑誌数が増加しています		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較して質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民 1 人あたりの図書年間貸出冊数、図書館等の実利用者数ともに前年度実績から大幅に減少となりました。今後も感染拡大防止対策を実施しながらの開館となりますが、今以上に質の高い図書館サービスを行うとともに、リピート率の向上と新たな利用者の開拓を図ります。また、前年度に引き続き、利用者のニーズに沿った蔵書の充実と窓口での接遇改善、レファレンスサービスの認知度を高め図書館を活用した専門的な情報の提供に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 3年 8月19日
15時00分25秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

所属長名 横手 憲治郎
担当者 稲垣 正典
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	006	読書活動推進事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	より多くの市民が
目的	読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができるようになる
手段	・子どもが読書に親しみ、絵本の楽しさと豊かな感性を育むため、出前おはなし会等を開催します。 ・読み聞かせボランティアの養成とスキルアップの支援を行います。 ・保健センターの4か月児健診終了後に、読み聞かせの実演とともに、赤ちゃん向け絵本と新美南吉絵本大賞作品と一緒に配付する安城版ブックスタート事業を実施します。
事務内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、安城版ブックスタート事業 等

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度 決算額	令和 2年度 決算額	令和 3年度 予算額
トータルコスト	19,311	17,026	21,803
事業費	3,561	3,166	5,303
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	917	822	1,111
一般財源	2,644	2,344	4,192
人件費計	15,750	13,860	16,500
正規（人）	2.50	2.20	2.50
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第4次子供読書推進計画策定 ふれあい学級での読書活動推進	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第3回安城市新美南吉絵本大賞 外国にルーツを持つ子供への読書活動推進

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	人	4,500.00 4,914.00	4,500.00 234.00	250.00 0.00
ボランティア養成・支援講座の開催回数	回	20.00 18.00	20.00 1.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	コロナ禍の影響でおはなし会や講座等への市民ニーズは不明		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	図書館等での定期的なおはなし会は一部のみ実施		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	読み聞かせボランティアとの協働事業は実施が難しい状況である		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により図書情報館での「おはなし会」、ボランティア養成・支援講座などの行事はほとんど開催できませんでした。今後、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、先行きが不透明な状況ですが、感染拡大防止対策を実施しながらの開催に努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。